

大震災等の災害発生時の対応について

(ハンドボール)専門部 氏名(中村 健太)

1 連絡系統の確率(学校電話・顧問・支部などの連絡網、携帯メール、報道関係利用など)

関係する各学校または顧問	参加生徒と家庭間	大会本部(県小中体連事務局)
専門委員長の携帯電話による連絡、もしくは電子メール等により連絡。	各校の対応に任せてあるが、大会事前打ち合わせにおいて、各校顧問と保護者間は電子メール等による連絡方法を構築できるように依頼済み。	専門委員長の携帯電話、及び電子メール等により大会本部へ連絡。

2 災害発生時の避難方法

一次避難 (災害発生の正にその時の避難)	二次避難 (災害発生後、直ちに帰宅不能な生徒らの安全確保)
地震の際は水銀灯等の落下物に気をつけながら、大会会場である、小瀬スポーツ公園体育館、甲州市塩山体育館の外へ避難し、その後避難場所に移動をする。その際の出口はアリーナからのドアや正面玄関、非常用扉から避難する。 落雷や豪雨の際は雷や雨が収まるまで体育館内で待機する。	大会会場を管理する甲府市スポーツ協会、甲州市生涯学習課と確認し、大会会場や近隣にある他の施設などへの避難が出来るよう最大限努力する。

3 その他事前に配慮しておくこと

配布されているマニュアルや手引き等を活用しながら、打ち合わせの際に確認を行う。